

韓国の人気歌手 TV司会降板

【ソウル＝市川速水】竹島(韓国名・独島)の領有権や教科書問題で日本に好意的な発言をした韓国の国民的歌手・趙英男(チョウ・ヨンナム)さん(60)の写真が世論の猛攻撃を受け、10年以上続けてきた人気テレビ番組の司会を降りた。

竹島・教科書発言めぐり



趙さんは今年1月、「殴り殺される覚悟で書いた親日宣言」という本を出版。

その邦訳本を紹介した産経新聞の今月24日付のインタビュー記事で、「(靖国神社は)普通の神社と変わらなかつた」、日韓の摩擦について「冷静に対応するならば日本の方が一段上だなど思う」と述べた。

この内容を韓国メディアが批判的に伝えると「売国

趙さん 抗議3000件 「世論 負担に思う」

奴「一靖国に参拝するとは何事か」などの反発が主要紙やインターネットで一斉に起きた。特に趙さんが93年から司会を務める公営放送・KBSの「体験、人生の現場」のネット掲示板には、抗議や降板を求める書き込みが3千件以上も寄せられ、放送界からの追放を求める動きまで出ている。

趙さんは「世論を負担に思う。しばらく休みたい」と5月1日の放映限りで降板する意思をKBSに伝え、同局も「このままでは番組の円滑な進行が難しい」と感留しなかつた。